

「PM2.5」・光化学スモッグの発生に **注意**

■光化学スモッグとは

これから先、日差しが強くなるに伴い、『光化学スモッグ』が発生しやすい季節になります。気温が20℃以上で、風が弱く、晴れているのに空に白くもやがかかると日には、光化学スモッグに注意が必要です。

■光化学スモッグの症状

・目がチカチカ、喉がイガイガなど

■症状が現れたら

洗眼やうがいなどを十分に行い休息してください。回復しない場合や、咳や頭痛などの他の症状が続く場合は、医師の診察を受けてください。

※光化学オキシダントの濃度が基準を超えたら「光化学スモッグ注意報」を発令します。注意報が発令されたら屋外での運動などをやめ、できるだけ早く室内に入ってください。

■大気環境情報メールに登録を！

県では、注意報の発令と同時にメールを配信する「大気環境情報メール」サービスを行っています。ぜひ、ご登録ください。なお、本メールではPM2.5のお知らせも配信します。

「大気環境情報メール」登録方法

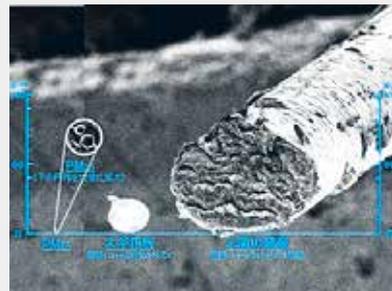
「sky@123123.tv」に空メールを送信し、自動返信されるURLにアクセスして、指示に従って登録してください。QRコードはこちら→



微小粒子状物質「PM2.5」

大気中に漂う粒径2.5マイクロメートル(μm)以下の小さなものを、微小粒子状物質(PM2.5: Particulate Matter)と呼んでいます(髪の毛の大きさ:50から100μm)。微小粒子状物質は、自動車の排ガスや工場のばい煙など発生源から直接排出されるものや、大気中の揮発性有機化合物、窒素酸化物などのガス成分が光化学反応により生成されます。近年では大陸からの大気汚染物質が日本に影響を与えることが懸念されています。

(東京都環境局ホームページより引用)



【PM2.5の大きさの比較】

■環境基準

1年平均値が15μg/m³以下であり、かつ、1日平均値が35μg/m³以下であること。(H21.9.9告示)

■健康への影響は？

この物質は、粒径が小さいことから、肺の奥深くまで入りやすく、粒子表面にさまざまな有害物質が吸収・吸着されているため、健康影響が懸念されています。

■測定体制

県では、県内の大気環境の状況を常時監視しています。微小粒子状物質(PM2.5)の測定結果については、県のホームページをご覧ください。

〈問い合わせ〉 県 環境生活部環境局環境保全課 Tel.096(333)2269 役場 環境対策課環境保全係 Tel.(67)3176

犬のフン 後始末はどうしていますか？

健康ブームの最中、愛犬と一緒にウォーキングを楽しむ姿が多く見られます。そのとき愛犬が「フン」をしてしまった場合、あなたはどのようにしていますか？

■苦情が寄せられています

現在、村内には977頭の飼い犬が登録されています。ほとんどの飼い主はマナーを守り愛犬と日々の生活を楽しまれていることでしょう。しかし一方では、ごく一部の飼い主のために、村の美しい環境が損なわれ不衛生な環境が生み出されているのも現状です。中には「犬のフンが多くて散歩を楽しめない」「子どもたちがフンを触りそうで不安」など、犬のフン害に関する苦情が多く寄せられています。

■子どもが触ってしまうことも?!

犬のフンは、寄生虫の卵や、いろいろなばい菌をもっている場合があります。

小さな子どもが触って、その手でお菓子などを食べてしまうと、そのばい菌が体内に入って病気になることもあります。

■誰かが見えています

「誰も見ていないし、まあいいか」と思って、後始末をしない飼い主。実は、自分の知らないところで見られているのをご存知ですか？ ビニール袋やスコップは持っているけれど、後始末をしていない人もいます。

■マナーを守って楽しく散歩

自分の庭に愛犬がフンをしてしまったら、あなたは放置しますか？ 一歩外に出れば、そこはあなたの私有地ではありません。美しい環境で気持ちよく散歩するためにもきちんとマナーを守りましょう。

〈お問い合わせ〉

役場 環境対策課環境保全係
Tel.(67)3176

